

# 国際バカロレアの推進

- グローバル人材の育成に向けた国の取組 -

文部科学省 大臣官房 国際課

国際協力企画室長

松木 秀彰



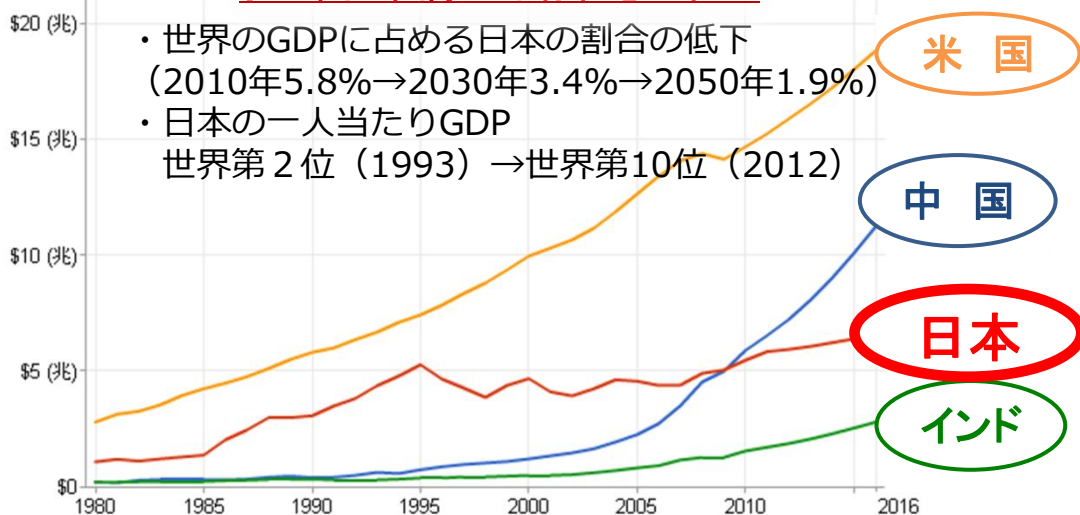
MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,  
CULTURE, SPORTS,  
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

# 今、向き合わなければならない我が国の状況

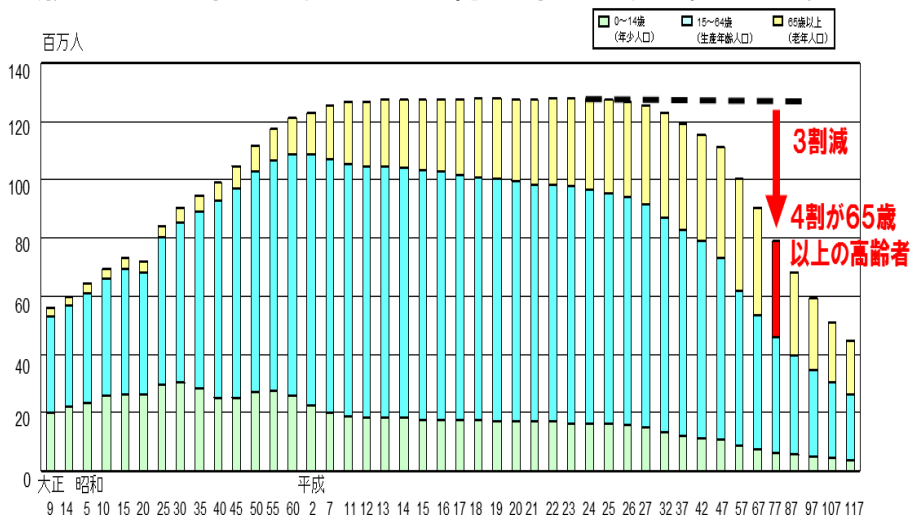
## グローバル化の進展

### 我が国の国際的な存在感の低下



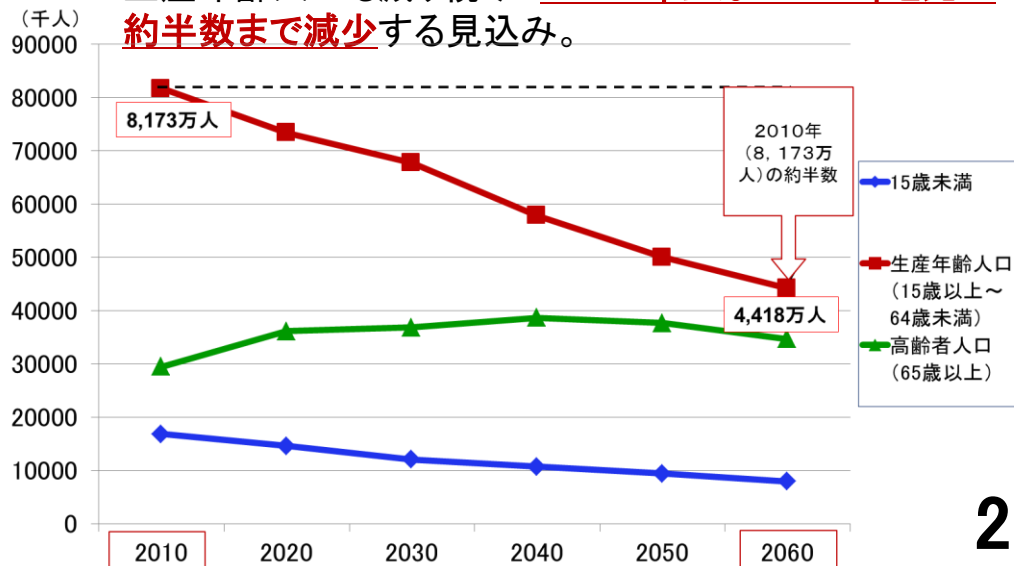
## 人口の推移と将来人口

少子高齢化の進行により、**約50年後には総人口が約3割減少**、  
 65歳以上の割合が総人口の約4割に達する見込み。



## 生産年齢人口の推移

生産年齢人口も減り続け **2060年には2010年と比べ約半数まで減少**する見込み。



# 子供たちの未来

現在の職業の多くは、今後なくなっていく

今後10～20年程度で、約**47%**の仕事が自動化される可能性が高い

マイケル・A・オズボーン氏(オックスフォード大学准教授)

子供たちの**65%**は、大学卒業後、今は存在していない職業に就く

キャシー・デビッドソン氏(ニューヨーク市立大学大学院センター教授)

先を見通すことの難しい時代において、生涯を通じて不断に学び、考え、予想外の事態を乗り越えながら、自らの人生を切り拓き、より良い社会づくりに貢献していくことができる人間を育てることが必要。



そのため  
には…

我が国に永らく続いた学力観を転換し、  
成熟社会にふさわしい「真の学ぶ力」を育  
成・評価できるよう、抜本的な意識改革・  
制度改革を早急に図ることが必要。

# 国際バカロレアについて

## 【概要】

- 国際バカロレア機構(本部ジュネーブ)が提供。
- **グローバル人材の育成**に優れたプログラムであり、世界140以上の国・地域、約4,000校で導入。
- 高校レベルのディプロマプログラム(DP)は、**国際的に通用する大学入学資格(IB資格)**が取得可能。

## 【政府の目標】

**IB認定校等を2018年までに200校に大幅増!!**

**「日本再興戦略」(H25年6月閣議決定)**

# 国際バカロレア導入の目的

# 目的1

## グローバル人材の育成



# グローバル人材育成の取組

基礎的なグローバル  
対応能力の確保

トップ人材育成のための  
ハイレベルな環境の整備

大学等

## スーパーグローバル大学創成支援

(平成27年度予算77億円)

高等教育の国際競争力の向上及びグローバル人材の育成を図るため、国際化を徹底して進める大学を重点支援。(平成26年度はトップ型13件、グローバル化牽引型24件)

## 留学生交流の推進

- ・日本人の海外留学の促進(官民協働留学支援制度創設)
- ・優秀な外国人留学生の戦略的な受入れ

## 国際バカロレア (IB DP)の推進

## スーパーグローバルハイスクールの整備

(平成27年度予算11億円)

グローバルな社会課題を発見・解決できる人材や、グローバルなビジネスで活躍できる人材の育成に取り組む高校を支援。(指定校56校、アソシエイト55校)

**小・中・高等学校を通じた英語教育の強化**  
(「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」)

高校

中学校

小学校



# The IB mission (IBの使命)

- ・ 国際バカロレア (IB) は、多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する、探究心、知識、思いやりに富んだ若者の育成を目的としています。
- ・ この目的のため、IBは、学校や政府、国際機関と協力しながら、チャレンジに満ちた国際教育プログラムと厳格な評価の仕組みの開発に取り組んでいます。
- ・ IBのプログラムは、世界各地で学ぶ児童生徒に、人がもつ違いを違いとして理解し、自分と異なる人々にもそれぞれの正しさがあり得ると認めることのできる人として、積極的に、そして共感する心をもって生涯にわたって学び続けるよう働きかけています。

# The IB Learner Profile (学習者像)

**IB learners strive to be:**

- Inquirers 探究する人
- Knowledgeable 知識のある人
- Thinkers 考える人
- Communicators  
コミュニケーションができる人
- Principled 信念をもつ人
- Open-minded 心を開く人
- Caring 思いやりのある人
- Risk-takers 挑戦する人
- Balanced バランスのとれた人
- Reflective 振り返りができる人



# 産業界からの提言

「語学力のみでなく、コミュニケーション能力や異文化を受容する力、論理的思考力、課題発見力などが身に着く**IBディプロマ課程は、グローバル人材を育成する上で有効な手段の一つである。**」



「ディプロマ取得者に対する社会における適切な評価も重要であり、**大学入試における活用や、企業も採用時や人材活用において適切に評価することなどが重要。**」

H25年6月 日本経済団体連合会

ーグローバル人材の育成に向けたフォローアップ提言ー

「世界を舞台に活躍できる人づくりのために」



# 目的2

- ・IB資格：国際的に通用する大学入学資格
- ・IBスコア：世界共通の成績証明書



**国際的通用性(国内外への進路の多様化)**

# DPのカリキュラム

- ① 各グループから1科目ずつ選択し、計6科目を2年間で履修。ただし、グループ6(芸術)は他のグループからの科目に代えることも可能。

6科目のうち、3~4科目を上級レベル(HL,各240時間)、その他を標準レベル(SL,各150時間)として履修。

グループ名	科目例
1 言語と文学 (母語)	言語A : 文学、言語A : 言語と文学、文学と演劇
2 言語習得 (外国語)	言語B、初級語学、古典語学
3 個人と社会	ビジネス、 <span style="border: 1px solid black;">経済</span> 、 <span style="border: 1px solid black;">地理</span> 、 <span style="border: 1px solid black;">歴史</span> 、情報テクノロジーとグローバル社会、哲学、心理学等
4 理科	<span style="border: 1px solid black;">生物</span> 、 <span style="border: 1px solid black;">化学</span> 、デザインテクノロジー、 <span style="border: 1px solid black;">物理</span> 、コンピューター科学等
5 数学	<span style="border: 1px solid black;">数学スタディーズ</span> 、 <span style="border: 1px solid black;">数学SL</span> 、 <span style="border: 1px solid black;">数学HL</span>
6 芸術	<span style="border: 1px solid black;">音楽</span> 、 <span style="border: 1px solid black;">美術</span> 、ダンス、フィルム、演劇

- ② また、プログラムの「コア」となる、次の3つの必修要件を履修。

課題論文(Extended Essay) : 履修科目に関連した研究分野について個人研究に取り組み、研究成果を4,000語(日本語の場合は8,000字)の論文にまとめる。

知の理論(Theory of Knowledge) : 「知識の本質」について考え、「知識に関する主張」を分析し、知識の構築に関する問いを探究する。批判的思考を培い、生徒が自分なりのものの見方や、他人との違いを自覚できるよう促す。最低100時間の学習。

創造性・活動・奉仕(Creativity/Activity/Service, CAS) : 創造的思考を伴う芸術などの活動、身体的活動、無報酬で自発的な交流活動といった体験的な学習に取り組む。

- ③ IB資格の取得には、上記を全て履修し、外部評価(国際バカロレア試験等)及び内部評価を通じて、原則として45点満点中24点以上を取得する必要。配点は、6科目につき各7点(計42点)、3つの必修要件で計3点。

## ※「日本語DP」について

DPの授業・試験は、原則として、英語、フランス語又はスペイン語で行う必要があるが、その一部科目を、日本語で実施可能とするプログラム。内の科目と必修要件が、日本語でも実施可能になる予定。

なお、日本語DPでも、6科目中2科目(通常、グループ2(外国語))に加えて更に1科目は、英語等で履修する必要。

# 国際バカロレア試験：歴史科目の例

2005年・上級・標準レベル科目共通 制限時間／90分

出題の中から2つの設問を選択し、それぞれの設問に関する歴史的出来事、その出来事が20世紀にどのようにして展開されたかを論述。

## テーマ群1／戦争の原因、勃発、そしてその影響

1. 第一次世界大戦における同盟国、もしくは第二次世界大戦における日独伊の枢軸国の政権が敗北した主な原因を述べなさい。
2. 戦争が社会変革を加速させるという視点にどの程度賛成するか述べなさい。
3. 異なる地域で勃発した二つの戦争について、自国内と最前線とで展開された民間人による戦争への貢献について評価しなさい。
4. ロシアの内戦、スペイン市民戦争、中国の内戦の3つ内戦のうち2つを選んで、その内戦が起こった理由、影響、そして外国の関与について比較しなさい。
5. 「和平調停は新たな抗争の条件を整える。」この発言について、どの程度同意するか、少なくとも2つの和平交渉を例に説明しなさい。

このようなテーマ群が6つあり、計30のテーマから2つを選んで回答。  
ただし、同一テーマから2つ選んではいけない。

# 国際バカロレア試験：化学科目の例

2004年・上級レベル科目 制限時間／75分

複数の選択肢(オプション)の中から2つを選択し、それぞれ全ての設問に解答

参考：<http://www.ibo.org/diploma/assessment/exampapers/>

## オプションG／現代分析化学

G1. 遷移金属の錯イオンを含む水溶液は通常、呈色する。これは、溶液中を透過する白色光の波長の一部の吸収によるものである。

(a) 3つの要素が、吸収される色を決定するのに役立つ。以下のそれぞれのペアについて、2つの複合体の色の違いの要因となる点を延べよ。

- $[Co(NH_3)_6]^{2+}$ ,  $[Ni(NH_3)_6]^{2+}$
- $[Fe(H_2O)_6]^{2+}$ ,  $[Fe(H_2O)_6]^{3+}$
- $[Cu(NH_3)_4(H_2O)_2]^{2+}$ ,  $[Cu(H_2O)_6]^{2+}$ ,

(b) 錯イオンによる色の吸収の波長は、金属イオンのd軌道の分裂という点で説明することができる。 $Cu^{2+}$  のd軌道の電子配置は次の略図で示される。

$Cu^{2+}$  が  $[Cu(H_2O)_6]^{2+}$  として存在するとき、 $Cu^{2+}$  の電子配置がどのようになるか、略図を書け。

(c)  $[Cu(NH_3)_4(H_2O)_2]^{2+}$  と  $[CuCl_4]^{2-}$  におけるd軌道の分裂は、 $[Cu(H_2O)_6]^{2+}$  の分裂より大きいか、または小さいか、または等しいか、延べよ。

※G2, G3は省略

※このような選択肢(オプション)が複数あり

# TOK 知識に対する問いの例

## 数学

- ・数学は、発明されたのか、それとも発見されたのか。
- ・数学的価値に、なぜ優雅さや美しさが関係するのか。

## 自然科学

- ・帰納法のプロセス(具体事例から一般論を確立する)に問題があることを踏まえた上で、どのようにして科学の信頼性を確立できるのか。
- ・科学的知識は、時間とともにどのように変化し得るのか。

## 人間科学

- ・ヒューマンサイエンス(人間科学)の方法は、どこまで「科学的」なのか。
- ・ヒューマンサイエンス(人間科学)の法則には例外がある。だとすれば、どこまでこれらを実際の法則にあたりと言えるのか。

## 歴史

- ・語られた歴史に特定の文化的・国民的な見方がどれだけ影響しているかを、どのようにして見極めることができるのか。
- ・歴史における事実とは何か。

## 芸術

- ・作者と作品の間にはどのような関係があるのか。
- ・作品の美的価値は、純粹に主観の問題なのか。



# 英国の活用事例

英国では、英国入試機構(UCAS)が、IBスコアを独自のTariff Pointに置き換えて換算表を作成するとともに、**大学(学部)ごとに**出願が必要な**IBスコアの目安**も作成し、受験者に提供。

## <キングス・カレッジ・ロンドンの例>

コース名	IBスコアの目安(全体)	IBスコアの目安(科目)
物理(医学への応用)	35	数学と物理を含むHLの3つの科目で6
数学	35	数学のHLで6
古代史	35	HLの3つの科目で6,6,5
倫理学	35	HLの3つの科目で6
生命工学	35	数学と物理を含むHLの3つの科目で6,6,5
栄養学	34	化学と生物を含むHLの3つの科目で6,5,5

# 英国の活用事例

英国では、英国入試機構(UCAS)が、IBスコアを独自のTariff Pointに置き換えて換算表を作成するとともに、**大学(学部)ごとに**出願が必要な**IBスコアの目安**も作成し、受験者に提供。

## <オックスフォード大学の例>

コース名	IBスコアの目安(全体)	IBスコアの目安(科目)
生物化学	38~40	—
法学	38~40	—
人間科学	38~40	—
史学と政治学	38~40	—
数学と統計学	38~40	—
薬学	38~40	—
臨床心理学	38~40	—
化学	38~40	—
物理	38~40	—

# 米国の活用事例

- 各大学が独自のアドミッションポリシーに基づき選抜を実施。
- 特に競争性の高い大学を中心に、SATといった共通試験の成績等に加え、**各大学によってIBの履修をプラス材料として推奨。**
- 入学後の科目履修免除等の特典付与にも活用。  
(例) UCLA: 上級レベル科目のスコアが5の場合、  
殆どのIB資格取得者に単位が与えられる。

# 米国大学における入学者選抜の例

## ハーバード大学

### 出願要件等

- 高校において21単位(通年)を習得することが勧められている。21単位には、英語(4)、数学(4)、社会科学(3)、歴史(2)、科学(4)、外国語(4)が含まれる。アドバンストプレースメント(AP)や国際バカロレア(IB)を含む大学進学予備プログラムの習得も推奨されている。

### 出願書類等

- SAT reasoningまたはACT with Writing、SAT教科テストの2科目の提出が求められる。
- 各大学共通願書その他、大学独自の願書、高校内申書、高校3年生前期の成績、教員2名からの評価書、正式な高校成績証明書。

### 合否判定方式

- 高校での学業達成、教師による推薦状、標準試験の成績の順に重要であるとされている。
- 卒業生による面接は、海外の実施が難しい場合を除き推奨されている。面接の結果、学業上の成果、関心領域、課外活動、性格等について定性的な報告書が作成される。
- 教師による推薦状では、主に学生の学習に対する姿勢、他の学生との関わり方、運動能力・芸術など得意な才能についての情報を得ることに主眼が置かれている。

参考: 大学入試センター入学者選抜研究機構入試評価部門報告書「大学入試の標準化、多様化、及び精密化」(平成25年3月)より、文部科学省作成

# 米国の主要大学への合格率

大学名	IB生	米国全体	合格率の差
University or college	IB candidates acceptance rate	Total population acceptance rate	IB candidates versus total population (percentage points)
University of Florida	82%	42%	+40%
Florida State University	92%	60%	+32%
Brown University	18%	9%	+9%
Stanford University	15%	7%	+8%
Columbia University	13%	9%	+4%
University of California - Berkeley	58%	26%	+32%
Harvard University	10%	7%	+3%
New York University	57%	30%	+27%
University of Michigan - Ann Arbor	71%	51%	+20%
University of Miami	72%	30%	+42%
Cornell University	31%	18%	+13%
Duke University	28%	16%	+12%
University of Pennsylvania	24%	14%	+10%
Yale University	18%	7%	+11%
University of Central Florida	90%	47%	+43%
Boston University	70%	58%	+12%
University of California - Los Angeles	48%	23%	+25%
University of Virginia	64%	32%	+32%
UNC Chapel Hill	63%	32%	+31%
Princeton University	16%	8%	+8%

# IBを活用した大学入試について

全学部導入済	一部学部導入済	導入予定大学	検討中
筑波大学	東京外国語大学	(平成28年度) 東京大学、京都大学	会津大学
岡山大学	横浜市立大学	広島大学、東京芸術大学	東京医科歯科大学
国際教養大学	立教大学	鹿児島大学、東洋大学	東京工業大学
立命館アジア太平洋大学	慶應義塾大学	法政大学、創価大学	名古屋大学
玉川大学	順天堂大学	大阪市立大学	お茶の水女子大学
国際基督教大学	大阪大学	(平成29年度) 九州大学、東北大学	長岡技術科学大学
関西学院大学	早稲田大学	京都工芸繊維大学	明治大学
	上智大学	(平成30年度以降 または時期未定) 北海道大学、熊本大学、 千葉大学、立命館大学 豊橋技術科学大学	この他、10以上の国立 大学がIB入試の導入を 検討中。

## 【注】

- ・日本の学校の卒業生を対象としているものを記載(帰国生や留学生に対象を限定しているものを除く。)
- ・各大学の募集要項、文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」採択調書その他の公表資料に基づき文部科学省にて作成したもので、必ずしも全ての情報を網羅しているわけではありません。



# 目的3

初等中等教育の質の向上  
大学の国際化・活性化

# I B 教育の特長



**インタラクティブな授業**



**コミュニケーション力**



**課題発見・解決能力**



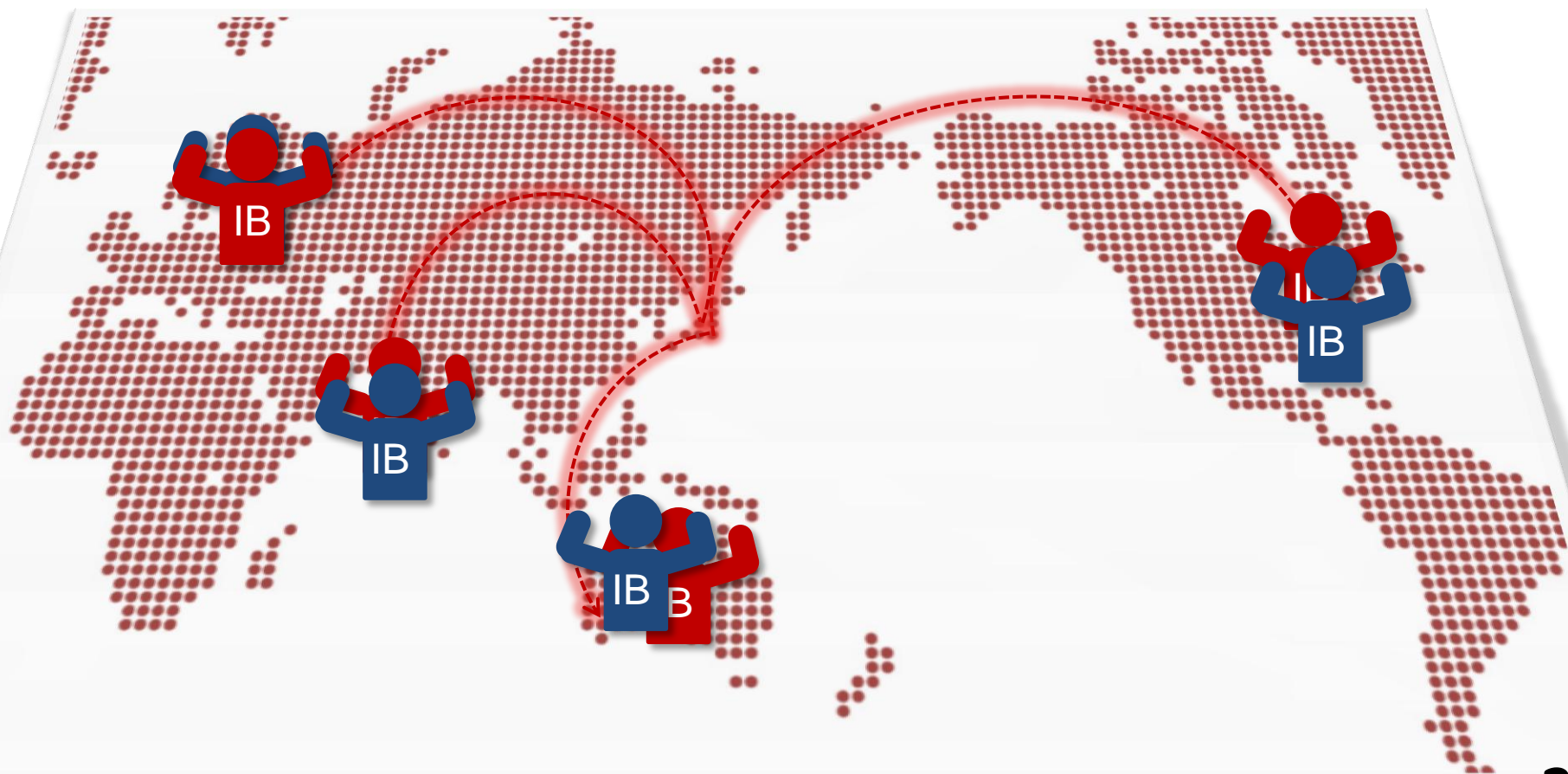
# 教育再生実行会議第四次提言

～高等学校教育と大学教育との接続・大学入学者選抜の在り方について～

(平成25年10月)

**「大学は、入学者選抜において国際バカロレア資格及びその成績の積極的な活用を図る。国は、そのために必要な支援を行うとともに、各大学の判断による活用を推進する。」**

- 海外を含めた**生徒の進路の多様化**
- 海外を含めた**優秀人材の獲得** →**大学の国際化**
- 学内での“**化学反応**”も期待 →**大学の活性化**



# (参考1) 現在の取組

# 日本語DP (日本語デュアルランゲージ・ディプロマ・プログラム)

## ● H25年度から開発を開始

→ DPの一部科目の授業と試験を日本語でも可能に

→ 優秀な日本人教員の確保・活用

→ 対象科目を随時追加

## 【対象科目】

経済、歴史、地理、生物、化学、物理、数学HL、数学SL、数学スタディーズ、音楽、美術、EE、TOK、CAS の計11科目3要件

H27年度予算額 (H28年度要求額)

**日本語DP開発経費 8千2百万円 (7千9百万円)**

## 基本スケジュール

**H27年 4月** 一部の認定校で、2年生より日本語DP課程開始

**H28年 11月** 同校で、3年生がIB試験を受験 (H29年3月卒業)

(※ 地理、数学スタディーズ、音楽、美術の4科目については、H29年4月から履修が、H30年11月から試験の受験が可能となる。)

# 学習指導要領との対応関係

## 「国際バカロレア・ディプロマ・プログラムの導入を促進するための教育課程の特例措置」について

(省令を改正し、本年8月19日に公布・施行)

- ①学校設定教科・科目として設置したIBDPの科目について、生徒の負担を軽減するために、**卒業に必要な単位数に算入できる上限を拡大(20単位⇒36単位)**すること。
- ②英数理の必履修科目及び総合的な学習の時間については、**関連するIBDP科目の履修をもって代えることができる**こと。
- ③国語以外の教科等については、英語による指導を行うことができること。

# 教員の養成／確保

## (1) 日本語によるIB教員養成WSの国内開催

- ・今年12月から暫くの間、無料開催を予定。

## (2) 外国人に対する教員免許状の円滑な授与

- ・昨年6月、各都道府県に対し、「特別免許状の授与に係る指針」を示し、授与の促進を依頼。

## (3) 大学におけるIB教員養成コースの設置

- ・昨年4月から、玉川大学で設置。
- ・筑波大学、東京学芸大学、大阪大学、岡山大学、広島大学 他でも検討中。

# IBに関する広報/理解増進 等

## (1) IBに関する広報/理解増進 等

- IBに関するセミナー等の開催
- IB普及拡大広報フェイスブックページの作成  
(<https://www.facebook.com/mextib>)

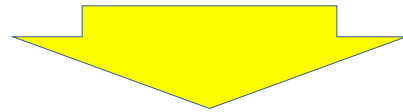
## (2) 国際バカロレア認定のための手引きの作成

- ・認定校を目指す学校のため、認定までのプロセスや費用などについて説明したもの。  
([http://www.mext.go.jp/component/a\\_menu/education/detail/\\_\\_icsFiles/afieldfile/2015/10/13/1353392\\_01.pdf](http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/__icsFiles/afieldfile/2015/10/13/1353392_01.pdf))

# IB認定取得に向けた国内の動向 (ディプロマ・プログラム)

## ●「日本再興戦略」策定時（H25年6月）

認定校 ……16校



## ●現在（H27年10月）

認定校 ……26校

候補校等 ……12校

+ 申請予定の学校 等

←更に各地の教育委員会等でも検討が拡大!!



**ありがとうございました。**

**ご不明な点がございましたら**

**文部科学省大臣官房国際課までお問合せください。**

**TEL: 03-5253-4111 (内線3222)**

**MAIL: kokusai@mext.go.jp**